

上堰潟公園(菜の花・桜)

角田山の麓にあるこの公園には、
春は桜や菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスが咲き誇ります。
8月から10月にはわらアートまつりが開催され、
大勢の人が訪れる人気スポットとなっています。

2024
春号

CONTENTS

■特集

- 02 市町村紹介コーナー 新潟市西蒲区
- 04 発注者支援事業紹介
- 05 けんせつセミナー・
クリエイティブセミナーのご案内

■センターINDEX

- 06 設計CBRと修正CBRの違いとは
- 07 雪のことば・雪のころ
- 08 編集後記
新潟の地酒巡り 今代司酒造
むすぶ お酒を



新潟県 建設技術 センターだより

市町村紹介コーナー

新潟市西蒲区

[下越エリア]

一般財団法人
新潟県建設技術センター

<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18

TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854

角田岬灯台

角田岬に立つ、高さ約13メートルの白い灯台です。砂浜から灯台へと登る階段があり、そこから見渡す日本海は壮観です。また、灯台付近には、源義経が頼朝に追われ、奥州平泉に海路で落ちて逃れる際に舟と一緒に隠れたとされる「判官舟かくし」と呼ばれる洞窟があります。



新潟市 西蒲区

Niigatashi Nishikanku

新潟市西蒲区のプロフィール

面積 / 176.58km²

人口 / 53,319人(令和6年2月29日現在)

世帯数 / 20,942世帯(同上)

<https://www.city.niigata.lg.jp/nishikan/>

西蒲区は、新潟市の南西部に位置し、海・山・平野に抱かれた自然豊かな環境にあります。西には日本海を望む美しい海岸線と秀峰角田山・多宝山を有しており、その周辺付近は「佐渡弥彦米山国定公園」に指定されています。山地を除く大部分は、広大な新潟平野に美田が展開し、信濃川の分流である西川と中ノ口川が流れています。

基幹産業である農業では、おいしい米作りをはじめ、砂丘畑地でのスイカ、メロン、大根等の栽培、平地での野菜や果樹の栽培などにより広大な農地の利用を進めています。



◆新潟市の花 チューリップ

チューリップは新潟市が全国1位の切り花出荷量を誇る花で、新潟市の花にも制定されています。新潟市在住の方がオランダから球根を輸入し、大正8年(1919年)に初めて栽培したのが始まりと言われています。シンプルな花ですが、一重、八重、フリンジ咲きなど、花形のバリエーションが非常に豊富で、花色を含めると組み合わせは無数に広がります。





まき夏まつり

毎年6月の「巻神社大祭」に合わせて行われるまつりです。「やかたおけさ」、「巻甚句」を踊る民謡流しから始まり、神輿渡御、山車、花火大会などが繰り広げられ、迫力ある「やかた竿燈」で締めくくります。



中之口まつり

旧中之口村が誕生した7月7日に近い土・日曜の2日間に行われるまつりです。各商店・事業所の七夕飾りや灯ろう、ちょうちん飾りがまつりの雰囲気盛り上げています。バラエティショーや花火大会も開催されます。



和納十五夜まつり

毎年7月下旬に行われるまつりです。一説では400年以上前から行われている伝統行事で、新潟市無形文化財に指定されている「棒遣い」を始め、仕掛花火や草花火など見どころ満載です。



潟東おまつり広場

毎年8月16日に行われるまつりです。メインの「どろんこカップ」では、田んぼを使って、ドッジボール、フラッグなどの競技を行います。京都、北海道、東京など全国からの参加もあります。



越後にしかわ時代激まつり

毎年10月上旬に行われる、「曾根代官所」が置かれていた時代背景を活かしたまつりです。曾根代官役には毎年有名人を起用し、時代行列が商店街を練り歩く様子は、歴史絵巻そのものです。

特産品



越王おけさ柿

形は扁平で、渋柿ですが種がありません。渋抜きすることによって甘柿にはないやわらかい肉質となり、とろけるような甘さが味わえます。ビタミン含有量はフルーツの中でもトップクラスです。



いちじく「越の雫」

みずみずしい果実の雫が舞い落ちたイメージから命名され、県内産の約9割が新潟市西蒲区で生産されています。栄養価も高く、美容と健康にも良いと言われ、つぶつぶの食感と独特の香り、ほのかな甘みが特徴です。

その他のトピック



にしかん観光周遊ぐる〜んバス

西蒲区の魅力的な観光スポットと彌彦神社を結ぶ観光周遊バスです。令和6年度は4月27日(土)～10月27日(日)の土・日曜、祝日に運行します。1日フリーバス(500円)または乗車証明を特典協力店で提示すると、お得な特典を受けることができます。



鳥屋野・万代・下所島排水区雨水バイパス管下水道工事

工事概要

鳥屋野・万代・下所島排水区では、平成10年8月に時間最大97ミリメートルの豪雨を記録した際、床上浸水や床下浸水等大きな被害が発生しました。

当該排水区には新潟駅及びその周辺の商業・業務施設や住宅地が密集しており、当工事は豪雨時にこれら都市機能の確保、浸水被害軽減のための雨水バイパス管（最大で1時間約50ミリメートルの計画降雨対応）の整備を行うものです。

工事内容

- 工事名 / 令和元年度 東下第33号
鳥屋野・万代・下所島排水区
雨水バイパス管下水道工事
- 発注者 / 新潟市 下水道部
東部地域下水道事務所
- 施工者 / 西松・大豊・植木・池井 特定共同企業体
- 工期 / 令和2年3月10日～令和7年8月29日
- 工事概要 / シールド工 φ3,500mm L=2,361m
立坑築造工 N=1箇所
特殊マンホール築造工 N=1箇所

施工位置図（国土地理院発行の地図に計画管路を記載して掲載）

新潟市万代地区から銚西地内まで雨水バイパス管を築造します



発進基地



シールドマシン



構内状況



※写真提供:新潟市東部地域下水道事務所

積算担当者 から一言

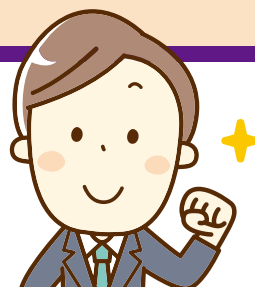
清水 俊志

この工事の積算にあたり、未経験な部分もありプレッシャーも大きい中、経験者からのアドバイスや過去の事例を参考にするとともに、積算基準等の理解を深めつつ監督員をはじめ関係者の支援を受けながら遂行することができました。

入札で工事受注者が決定したときは、達成感と同時に大きなプレッシャーからも解放されました。

今後は、この業務経験を建設技術センター内でしっかりと技術伝承するとともに、発注機関からの信用・信頼を得ながら地域社会の安心・安全と発展に貢献していきたいと思っております。

けんせつ セミナー 2024の ご案内



けんせつセミナー2024 開催予定

No	研修名	受講対象者			CPD 認定
		県	市町村	民間	
1	初任者技術研修		○		○
2	土質・地質調査I(基礎編)	○	○		○
3	土質・地質調査II(応用編)	○	○		○
4	道路施設の補修・補強技術	○	○	○	○
5	自然災害時の危機管理	○	○		○
6	土木施工管理	○	○		○
7	斜面对策技術	○	○	○	○
8	公共工事発注者のコンプライアンス	○	○		○
9	道路設計	○	○	○	○
10	橋梁I(下部工の設計・施工編)	○	○	○	○
11	橋梁II(上部工の設計・施工編)	○	○	○	○
12	道路舗装の調査・設計・施工	○	○	○	○
13	仮設構造物の設計と施工(「設計照査」を自分で行えるために)	○	○	○	○
14	雪氷技術	○	○	○	○
15	コンクリート構造物の維持管理	○	○	○	○
16	ICT施工および災害対応における最新技術の活用事例	○	○	○	○

県・市町村職員、建設事業関係者を対象に、多様化する建設課題に適切に対応できる視野と民間技術の発達に対応できる技術的能力の向上などを目的として「けんせつセミナー」を実施しています。

クリエイティブセミナーのご案内

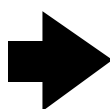
県、市町村などの職員を対象として、これからの社会資本整備に向けて必要とされる幅広い知識や本質を的確に捉える能力の向上を図るための研修「クリエイティブセミナー」を、県土木部との共催により実施しています。今年度も魅力あるクリエイティブセミナーを計画しております。



令和5年度 クリエイティブセミナー

回	テーマ	講師
1	家事も建設作業もできるロボットに!	筑波大学 システム情報系 准教授 境野 翔
2	男性も女性も若者も働きやすい職場へ～採用・育成いろいろ、私流～	フクダハウジング株式会社 代表取締役社長 木津 広美
3	心のレジリエンス	一般社団法人コーチング心理学協会 代表理事・講師 徳吉 陽河

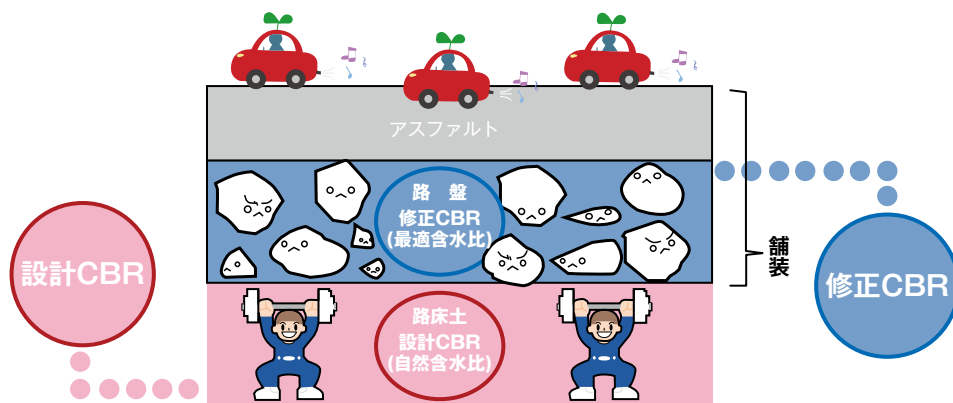
詳細が決まり次第HPに掲載いたします。
多数のご参加をお待ちしております。
詳しくは当センターHPをご覧ください。



<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

「設計CBR」と「修正CBR」の違いとは

CBRには路床土を対象とした「設計CBR」と路盤材料を対象とした「修正CBR」の2種類があり、目的によって使い分けます。



設計CBRとは

路床土について求めた設計CBR値からアスファルト舗装の厚さを設計します。路床部を盛土で構築する場合は、「土取場」等から試料を採取し、**自然含水比**にて試験を行います。また、現地施工区間の土をそのまま使用する場合は、「現地」から試料を採取し、**自然含水比**にて試験を行います。アスファルト舗装の厚さの設計は、舗装計画交通量と設計CBRに応じた等値換算厚(TA)を用いて決定します。

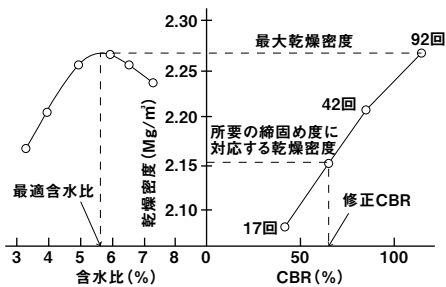
◆目標とする舗装の厚さ(TA)の一例 舗装計画交通量 $250 \leq T < 1,000$ (台/日・方向)信頼性90%

設計CBR (%)	3	4	6	8	12	20
TA (cm)	29	26	23	21	19	16

※TAとは、舗装の各層をすべて表層基層用加熱アスファルト混合物で構築したときに必要な厚さをいいます。
 ※信頼性とは、舗装が設定された設計期間を通して破壊しない確からしさをいいます。

修正CBRとは

路盤材料について求めた修正CBR値から所定の強さ(品質規格)を満足しているか判断します。修正CBR試験は、締め固め試験で求めた**最適含水比**に調整した材料を用いて行います。一般的に安全を考慮して、最大乾燥密度の95%に対応する乾燥密度のCBR値を修正CBR値としています。



乾燥密度と含水比及びCBRの関係図(引用:(公社)地盤工学会)

◆修正CBRの品質規格(新潟県)

材 料	修正CBR (%)
クラッシュラン	20以上
RC-40	
ARC-40	40以上
粒度調整碎石	80以上

設計CBRとは路床土の支持力を求めます

路床土



修正CBRとは路盤材料の強さを求めます

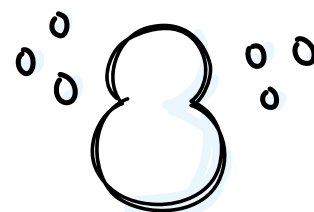
路盤材



すなわち

「設計CBR」と「修正CBR」は別の目的で行うものです。

雪のことは・雪のころ



2023年12月の大雪ならびに能登半島地震被災地への雪の影響

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

2023年～24年の冬期は全体的には暖冬少雪で推移しましたが、集中した降雪による障害も発生し、また、2024年元日の能登半島地震被災地への雪の影響も危惧されてきました。

2023年12月22日には新潟地方気象台で積雪深が42cmとなる大雪となりました。気温も0℃前後で風も比較的弱く、新潟市西蒲区では樹木への冠雪による倒木に起因する停電も発生しました。



図1 大雪による倒木 新潟市西蒲区

最近では12月中旬ごろに集中的な大雪となることが多くあります。この時には、能登半島でも大雪となり、長期間の停電も発生しました。

2024年元日にはその能登半島で大地震が発生し、新潟県内でも新潟市西区など多くの箇所では液状化による建物や道路への影響が見られ、積雪による被害の増大が危惧されました(図2)。新潟市西区の県道16号沿いでは、車道や歩道の損傷も大きく、通行や除雪に影響を与えました(図3)。石川県の七尾市では、崩壊した建物が車道上に倒れるなど、大きな被害となりました。現在でも多くの方が避難され、水道などの生活インフラが復旧しない中、たいへんご苦労をされています。

地震と雪の複合災害については、20年前の中越地震で日本雪氷学会と日本雪工学会の合同調査チームが提言しています。

<https://www2.jpgu.org/n-dis/wp-content/uploads/sites/9/2013/10/U08-17ppt.pdf>

また、今回の能登半島地震による現地調査を踏まえた地震と雪との複合災害対応についての留意点を雪氷

防災研究センターがまとめています。

https://www.bosai.go.jp/seppyo/research/nor3uc00000007oq-att/report_20240104_Niigatanishiku.pdf

https://www.bosai.go.jp/seppyo/research/nor3uc00000007oq-att/report_20240126_HimiNanao.pdf

今後の対応に少しでもご参考になれば幸いです。



図2 液状化による建物被害 新潟市西区



図3 地震による道路の被災と雪の影響 新潟市西区



図4 地震による建物被害 七尾市

特集

vol.29

新潟の地酒巡り

全国的にも評価が高い新潟の清酒。
そのおいしさの秘密を紹介します。

新潟市の酒蔵

いまよつかさ

今代司酒造

むすぶ お酒を

今代司酒造は日本一の蔵元数を誇る新潟県内において、玄関口である新潟駅から歩いて行ける距離に蔵を構えています。酒蔵見学は毎日行っており、近年では海外のお客様にも数多くお越しいただいています。



醸造責任者
古田 悟



むすぶ お酒を

歴史

1767年創業、当時は酒の卸し業や旅館業、飲食業を行っていました。酒造りに本格参入したのは明治中期。栗ノ木川(現国道49号栗ノ木バイパス)によって原料や製品の運搬に便利だった沼垂(ぬつたり)の地に蔵を構えました。新潟は江戸・京都に並ぶ日本三大花街があった土地でもあり、沼垂の蔵は一流料亭の職人たちに鍛えられ味を追求してきたのです。

その後、酒造りを見直したいという想いで2006年からアルコール添加を一切行わない全量純米仕込みに切り替えました。また、2018年には今では珍しくなった大型の木桶を2基導入し木桶仕込みのお酒にも力をいれており、個性を大切にされた酒造りに取り組んでいます。

今代司酒造のコンセプト

今代司酒造では「むすぶ」ということを自身の存在価値であると考え、日々の取り組みをしています。

今と古を むすぶ

今代司という名前は元来「今の時代を司る」という意味ですが、現在私たちは「今の時代に合った酒の楽しみ方を創造する」という解釈をしています。若い方にも地酒に親しんでいただくために、伝統を大切にすると同時に新しいコンセプトのお酒やパッケージデザインにもこだわりを持っています。

地方と都市を むすぶ

地酒とは地元の米・水・気候といった地域資源を活かして醸されるもの。地酒には地域の魅力がギュッと詰まっています。今代司酒造は、新潟の玄関口新潟駅に最も近い酒蔵として、日々新潟の魅力を伝えてまいります。

人と人を むすぶ

昔からお酒を酌み交わすという行為を通じ、人は心を通わせてきましたが、お酒はあくまでも脇役。しかし、淡麗で飲み飽きのしないお酒は食を引き立てるを進め、人に笑顔をもたらすアシストをしてくれます。今代司酒造ではこれからも、人と人が心を通わせるその時に寄り添うことができるお酒をつくってまいります。



- 1.『純米酒 今代司 ししのくらの森酵母仕込み』米・水・酵母、ほぼ全ての原材料が新潟県胎内(たいない)市産の純米酒。ブナの巨大異形樹で有名な神秘の森「ししのくらの森」から採取した酵母を使用しています。
- 2.『IMA 牡蠣のための日本酒』真正銘の日本酒ながら、白ワインの様に甘酸っぱくジューシーな味わい。牡蠣などの魚介類とペアリングするために開発されました。
- 3.『錦鯉 丹頂 The RISING SUN』新潟県のみで生産が許される高級酒米「越淡麗」を100%使用。パッケージのモチーフは、頭部に燃え上がる太陽を彷彿とさせる緋斑を持つ、「丹頂」という種類の錦鯉です。



今代司酒造株式会社
〒950-0074
新潟県新潟市中央区鏡が岡1-1
TEL.025-245-3231
FAX.025-245-3233
<https://imayotsukasa.co.jp/>

編集後記

日ごとに暖かさを感じられる季節となりました。
今回の春号では、新潟市西蒲区様と今代司酒造株式会社様を特集させていただいております。発行にあたり、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。
さて、令和6年度が始まりました。今年度も「信用・信頼」をモットーに地域づくりのサポートに取り組んでまいります。
また、今年度も新潟県建設技術センターだよりをより多くの皆様の手にとりていただけるよう、魅力的な情報発信をしたいと思います。今後とも、よろしく願い申し上げます。

編集委員 総務部 小川 莉奈